



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東  
 コード番号 4838 URL https://www.spaceshower.net/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,554	△36.0	△244	ー	△134	ー	△174	ー
2020年3月期第2四半期	8,680	17.5	211	△11.0	222	△7.1	95	△39.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △174百万円 (ー%) 2020年3月期第2四半期 84百万円 (△46.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△15.40	ー
2020年3月期第2四半期	8.43	ー

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期第2四半期 △16百万円 2020年3月期第2四半期 △11百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,963	4,108	59.0
2020年3月期	7,811	4,396	56.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,108百万円 2020年3月期 4,396百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
2021年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2021年3月期 (予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 1. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では業績予想の算定が困難であることから未定としております。今後、予想が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないため、業績予想について合理的に算定することが困難なことから未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	11,330,800株	2020年3月期	11,330,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	46株	2020年3月期	46株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	11,330,754株	2020年3月期2Q	11,330,783株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

なお、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないため、業績予想について合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による、経済活動の停滞、個人消費の低迷などにより、大幅な落ち込みとなりました。緊急事態宣言の解除後は、外出自粛の緩和などを背景に、景気の持ち直しに向けた動きがあったものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況のなか、回復ペースは緩やかにとどまっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

また、当社グループの事業に関連する、放送、音楽、エンタテインメントの各業界においては、市場環境や消費者ニーズが急速に変容を遂げ、デジタル化やグローバル化の進展に伴い、事業環境は激変しております。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛の動きにより、巣ごもり消費の拡大による放送やデジタル映像・音楽配信など、消費者ニーズの拡大が見込まれるサービスがある一方、ライブハウスの休業や、ライブイベントの延期・中止が相次ぎ、当社グループを取り巻く経営環境に大きな影響が及んでおります。

こうした環境の下、当社グループでは、創業以来行ってきた音楽映像コンテンツの企画制作及び有料多チャンネル放送プラットフォームにおける音楽専門チャンネルの運営をベースとしつつ、ライブイベント展開、デジタルコンテンツ制作や各種デジタルサービス展開、音楽レーベルからアーティストマネジメントに至る展開まで、当社グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開し、音楽エンタテインメント企業へと事業転換を図ってまいりました。また、ファンクラブ事業を展開するコネクトプラス(株)、コンセプトカフェ運営を行うインフィニア(株)、映像制作プロダクションの(株)セップ等、これら連結子会社とともに、新たな分野での成長施策の推進、事業領域の拡大に向けた企業グループ経営を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、こうした事業環境の変化に対応すべく、2020年7月5日に有料課金型ライブ配信サービス「LIVEWIRE」をスタートいたしました。アーティストそれぞれに合った空間・映像演出にこだわり、当社ならではのライブ配信をお届けすることで、多くのファンの方から支持を得ております。また、毎年山中湖で開催している当社主催の野外ライブイベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により今年は開催できなかったことを受け、2020年8月29日、30日に、オンラインイベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHARE supported by au 5G LIVE」を開催いたしました。4つの拠点から、生ライブやアーティストのスタジオトーク、同野外ライブイベントのアーカイブ映像など多彩なコンテンツを配信いたしました。さらに、2020年9月26日、27日には、いわゆる“3密”を避けて車に乗ったまま安心してライブを楽しむことができる野外音楽イベント「DRIVE IN LIVE “PARKED”」を山中湖交流プラザ きららにおいて開催いたしました。当社では、引き続き新しいイベントやビジネスを企画してまいります。

また、2020年8月11日には、オランダ王国に本社を置き、音楽デジタルディストリビューション事業「FUGA」を運営する INDEPENDENT IP B.V.（以下、「FUGA社」）との間で、日本における音楽配信事業を共同運営する合弁会社の設立に関する基本合意書を締結し、合弁会社設立の最終合意に向けて協議を開始いたしました。音楽配信事業は、定額制音楽配信サービス市場の伸長に伴い、堅調に成長を続けておりますが、当社が持つ日本国内の音楽ビジネスにおけるノウハウと、FUGA社が持つ高いシステム開発力及び世界的なマーケティングネットワークを相互補完的に組み合わせることで、より一層の事業の拡大が図れると考えております。

これら取り組みの結果、売上高は5,554,965千円と前年同期比3,125,549千円減（同36.0%減）となりました。また、各段階利益につきましても、営業損益は営業損失244,079千円と前年同期比455,166千円減（前年同期は営業利益211,086千円）、経常損益は経常損失134,867千円と前年同期比357,615千円減（前年同期は経常利益222,748千円）、親会社株主に帰属する四半期純損益は親会社株主に帰属する四半期純損失174,532千円と前年同期比270,082千円減（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益95,549千円）と、減収減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①メディア・コンテンツ セグメント

当セグメントにつきましては、音楽チャンネル運営を中心とするメディア事業、イベント・コンテンツプロデューサー事業、アーティストマネジメント事業、レーベル・ディストリビューション事業及び「WWW」「WWW X」を運営するライブハウス事業などの事業ユニットを中心に、連結子会社コネクトプラス(株)のファンクラブ事業、インフィニア(株)のコンセプトカフェ事業等を加えて、各事業分野の成長施策の推進にあっております。

メディア事業においては、有料放送収入が減少したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、番組収録などを予定通りに実施することができず、番組制作費やプロモーション費用が未消化となり、前年同期比で減収増益となりました。レーベル・ディストリビューション事業においては、デジタル音楽配信売上が増加したものの、パッケージ販売売上が減少したことにより、前年同期比で減収減益となりました。イベント・コンテンツプロ

デューズ事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当社主催の夏フェスイベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2020」が中止となるなど、ライブイベントの延期や中止が相次いだことにより、前年同期比で減収減益となりました。アーティストマネジメント事業においては、ライブイベントの延期や中止が相次いだことにより、前年同期比で減収となりました。また、ライブハウス事業及びインフィニア(株)のコンセプトカフェ事業においては、店舗の休業を実施したことなどにより、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,119,931千円と前年同期比2,955,540千円減（同36.6%減）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント損失（経常損失）106,828千円と前年同期比357,457千円減（前年同期はセグメント利益（経常利益）250,629千円）となりました。

#### ②映像制作 セグメント

当セグメントにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、映像制作案件の収録の延期が相次いだことなどにより、売上高は435,033千円と前年同期比170,009千円減（同28.1%減）となり、セグメント損益（経常損益）につきましてはセグメント損失（経常損失）10,740千円と前年同期比25,032千円減（前年同期はセグメント利益（経常利益）14,292千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が262,124千円、受取手形及び売掛金が379,583千円減少、また減価償却累計額及び減損損失累計額が101,070千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ848,027千円減少し、6,963,134千円となりました。

負債につきましては、主に買掛金が59,004千円、未払金が308,142千円、賞与引当金が65,928千円、その他流動負債が90,104千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ559,767千円減少し、2,854,860千円となりました。また、純資産は利益剰余金が前連結会計年度末に比べ288,020千円減少したことなどにより、4,108,274千円となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、262,124千円の使用となり、資金の四半期末残高は、2,303,118千円となりました。これは、営業活動により42,098千円、投資活動により99,977千円、財務活動により120,048千円使用したことによるものであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の使用は、42,098千円（前年同期は93,295千円の使用）となりました。これは主に、減価償却費の計上により101,183千円、無形固定資産償却費により41,206千円、売上債権の減少により379,583千円、たな卸資産の減少により50,504千円、退職給付に係る負債の増加により41,072千円、法人税等の還付額により132,975千円獲得した一方で、税金等調整前四半期純損失により135,565千円、その他の流動資産の増加により101,419千円、仕入債務の減少により59,004千円、その他の流動負債の減少により457,574千円、賞与引当金の減少により65,928千円使用したことなどによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の使用は、99,977千円（前年同期は244,126千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得により23,894千円、無形固定資産の取得により70,518千円使用したことなどによるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の使用は、120,048千円（前年同期は119,982千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払により113,307千円使用したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により当社の事業環境に大きな影響が及んでおり、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないため、業績予想について合理的に算定することが困難なことから未定といたします。

今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,565,242	2,303,118
受取手形及び売掛金	1,722,351	1,342,768
商品	74,942	49,144
仕掛品	179,540	155,452
貯蔵品	9,932	9,313
その他	316,309	289,530
貸倒引当金	△39,754	△44,337
流動資産合計	4,828,564	4,104,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,112,065	1,123,698
機械装置及び運搬具	21,171	21,171
工具、器具及び備品	781,849	790,336
土地	52,640	52,640
リース資産	81,750	81,750
建設仮勘定	—	4,300
減価償却累計額及び減損損失累計額	△930,779	△1,031,850
有形固定資産合計	1,118,697	1,042,047
無形固定資産		
のれん	45,940	20,845
商標権	137,390	130,742
ソフトウェア	107,578	131,658
ソフトウェア仮勘定	15,390	31,607
その他	39,852	44,118
無形固定資産合計	346,152	358,972
投資その他の資産		
投資有価証券	446,871	429,949
敷金及び保証金	258,769	259,025
繰延税金資産	737,207	698,759
その他	76,893	71,720
貸倒引当金	△2,611	△2,611
投資その他の資産合計	1,517,130	1,456,844
固定資産合計	2,981,979	2,857,863
繰延資産	618	280
資産合計	7,811,162	6,963,134

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,341,561	1,282,557
リース債務	13,527	13,619
未払金	606,124	297,981
未払法人税等	35,365	35,233
預り金	409,460	365,833
賞与引当金	124,065	58,136
役員賞与引当金	9,045	—
返品調整引当金	20,871	5,009
売上割戻引当金	148	56
その他	159,681	69,577
流動負債合計	2,719,850	2,128,005
固定負債		
リース債務	33,696	26,863
退職給付に係る負債	575,484	616,557
役員退職慰労引当金	67,518	78,673
その他	18,077	4,759
固定負債合計	694,777	726,855
負債合計	3,414,628	2,854,860
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,920,579	1,920,579
資本剰余金	977,399	977,579
利益剰余金	1,498,807	1,210,786
自己株式	△26	△26
株主資本合計	4,396,758	4,108,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△224	△644
その他の包括利益累計額合計	△224	△644
純資産合計	4,396,533	4,108,274
負債純資産合計	7,811,162	6,963,134

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	8,680,515	5,554,965
売上原価	6,556,420	4,408,556
売上総利益	2,124,094	1,146,408
返品調整引当金繰入額	463	—
返品調整引当金戻入額	—	7,780
差引売上総利益	2,123,630	1,154,188
販売費及び一般管理費	1,912,544	1,398,268
営業利益又は営業損失(△)	211,086	△244,079
営業外収益		
受取利息	10	2
受取配当金	582	562
受取賃貸料	942	870
業務受託手数料	4,853	300
諸預り金戻入益	13,805	—
助成金収入	—	122,456
雑収入	7,621	7,740
営業外収益合計	27,816	131,931
営業外費用		
支払利息	392	301
持分法による投資損失	11,485	16,317
為替差損	3,051	1,924
雑損失	1,225	4,175
営業外費用合計	16,155	22,719
経常利益又は経常損失(△)	222,748	△134,867
特別損失		
固定資産除却損	9,097	697
事務所移転費用	21,248	—
特別損失合計	30,345	697
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	192,402	△135,565
法人税、住民税及び事業税	83,841	334
法人税等調整額	23,486	38,633
法人税等合計	107,328	38,967
四半期純利益又は四半期純損失(△)	85,074	△174,532
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,475	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	95,549	△174,532

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	85,074	△174,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△423	△419
その他の包括利益合計	△423	△419
四半期包括利益	84,651	△174,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,126	△174,951
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,475	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	192,402	△135,565
減価償却費	94,238	101,183
無形固定資産償却費	34,363	41,206
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,873	4,582
のれん償却額	38,207	25,094
受取利息及び受取配当金	△593	△564
敷金及び保証金償却	3,863	2,858
助成金収入	—	△122,456
持分法による投資損益(△は益)	11,485	16,317
支払利息	392	301
有形固定資産除売却損益(△は益)	9,097	—
無形固定資産除売却損益(△は益)	—	697
出資金償却	5,918	3,042
事務所移転費用	21,248	—
差入保証金の増減額(△は増加)	△20	△12
長期前払費用償却額	311	311
売上債権の増減額(△は増加)	△595,075	379,583
たな卸資産の増減額(△は増加)	△98,101	50,504
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△129,171	△101,419
仕入債務の増減額(△は減少)	655,279	△59,004
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△110,465	△457,574
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△451	△13,317
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,888	△65,928
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,967	△9,045
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17,609	41,072
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△100,372	11,155
その他	1	—
小計	△37,778	△286,976
利息及び配当金の受取額	593	564
利息の支払額	△392	△301
法人税等の還付額	10,303	132,975
法人税等の支払額	△44,774	△10,817
助成金の受取額	—	122,456
事務所移転費用の支払額	△21,248	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,295	△42,098

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	—
有形固定資産の取得による支出	△173,748	△23,894
有形固定資産の売却による収入	850	21
無形固定資産の取得による支出	△37,439	△70,518
無形固定資産の売却による収入	5	369
投資有価証券の取得による支出	△5,100	—
出資金の払込による支出	△10,800	△4,070
出資金の回収による収入	42	311
貸付けによる支出	△2,620	—
貸付金の回収による収入	5,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△8,240	△2,564
敷金及び保証金の回収による収入	—	368
その他	△9,075	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244,126	△99,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△113,307	△113,307
リース債務の返済による支出	△6,650	△6,740
自己株式の取得による支出	△24	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,982	△120,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△457,407	△262,124
現金及び現金同等物の期首残高	2,615,159	2,565,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,157,752	2,303,118

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定）

一般の感染状況と社会生活及び経済活動の状況等を踏まえ、本感染症による今後の影響を検討した結果、前連結会計年度の決算短信に記載した追加情報の内容を以下のとおり変更しております。

社会生活及び経済活動は徐々に正常化の方向に向かい、2022年3月期の半ばまでには通常为社会生活及び経済活動を取り戻せるとの仮定を置いて、繰延税金資産の回収可能性について将来課税所得の見積りを行っております。

（連結納税制度の適用）

当社及び連結子会社は第1四半期連結会計期間から連結納税制度を適用しております。

（連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用）

当社及び連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,075,472	605,042	8,680,515	—	8,680,515
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	33,351	33,351	△33,351	—
計	8,075,472	638,393	8,713,866	△33,351	8,680,515
セグメント利益	250,629	14,292	264,921	△42,173	222,748

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△42,173千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,119,931	435,033	5,554,965	—	5,554,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23,310	23,310	△23,310	—
計	5,119,931	458,344	5,578,275	△23,310	5,554,965
セグメント損失 (△)	△106,828	△10,740	△117,569	△17,297	△134,867

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去等△17,297千円であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。